



地域医療を支える 国立大学医学部の役割

* 第3回 * (H24.5.17UP)

▶▶ [前回までの掲載はこちらから](#)

▶▶ [地域医療を支える国立大学医学部の役割トップページへ戻る](#)

今回は滋賀医科大学での取り組みについてご紹介します。

滋賀医科大学医学部の地域医療人育成の試みについて

(文責: 滋賀医科大学理事・副学長 服部 隆則 先生)

滋賀医科大学医学部医学科は1974年の開学以来3013名の卒業生を輩出しているが、そのうち1037名(病院858名、開業145名、診療所27名、他7名)が滋賀県内で就労している。また、看護学科の963名の卒業生のうち280名が県内で就労している。

地域医療人を増やす目的で、本学では、全国に先駆けて、平成10年度から推薦入試(当初15名平成14年度から20名)において地域枠(当初7名平成20年度から8名)を導入した。平成21年度に緊急医師確保対策で5名、経済財政改革の基本方針2008で5名、さらに、平成22年度には基本方針2009で5名の定員増が図られたが、このうち緊急医師確保対策と基本方針2009の計10名増については、卒業後滋賀県で働くことを条件(9年間以上)として県奨学金が6年間貸与される。基本方針2008の5名増については推薦入試地域枠で運用しているが、現在、推薦入試枠が25名、そのうち地域枠が13名となっている。これらの制度で、滋賀県で医療に参加する人材が多くなることが期待される。

定員増とは別に、地域医療人を確保するために、平成19年度から、産科、小児科、麻酔科と精神科を目指す学生に滋賀県から奨学金を貸与(3~6学年)される制度が運用されている。また、平成20年度から、滋賀県国保連合会から、滋賀県で働く(4年間以上)ことを希望する学生に卒業までの2年間奨学金が貸与される制度が同時に運用されている。これらを利用する学生が毎年5~8名いる。滋賀県からの寄附講座として、産科医の養成のために「地域周産期医療学講座」が平成19年に、また、精神科医の養成に向けて「地域精神医療学講座」が平成22年に設置されている。これらの制度面での試みとは別に、教育プログラムとして以下のような取り組みを実施している。

滋賀医科大学医学科における入学定員と地域枠数及び滋賀県奨学金受給者数

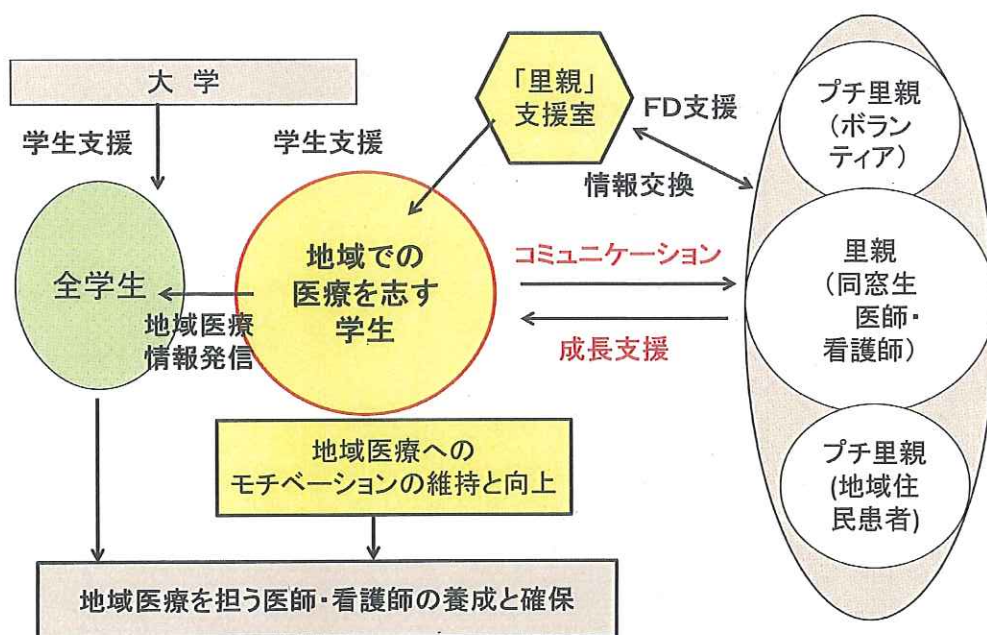
	入学定員	地域枠	滋賀県奨学金受給者
推薦入試	25	13	—
一般入試	75*	—	8
学士編入試	17	5	2
合計	117	18	10

*研究医枠「2名」を含む。

医学・看護学修学のモチベーションを高めるために、カリキュラムにおいて「早期体験学習」を配当している。これは、地域で展開されている医療・保健・福祉の現場に学生を入学直後から参加させ、医学・看護学を学ぶ自分の役割や課題について省察させるものである。実際には、学生は診療所と養護施設を訪問し、医療人や患者と交わることで体験学習をしている。

平成19～22年度に文部科学省の支援を受け、『地域「里親」による医学生支援プログラム』を実施した。これは、地域住民が「地域医療の担い手の育成」に参加する教育プログラムで、卒業生や医療関係者を「里親」、住民、特に献体登録者や模擬患者等を「ブチ里親」とし、里親、ブチ里親と学生が、年に数回県下の医療機関で研修会を持ち、地域社会の良い所や地域医療の必要性・重要性について理解を深めるGPであった。平成23年度からは、県、市町村、医師会や看護師会等からの協力を受け、NPO法人「滋賀医療人育成協力機構」を立ち上げ、「地域「里親」による学生支援事業」を継続している。参加学生を登録制にしているが、医学科、看護学科とも2割ほどの学生が参加している。

地域「里親」学生支援プログラム



平成21年度からの地域医療再生計画に呼応し、国立病院機構滋賀病院を中心として東近江総合医療センターを立ち上げ、ここに総合内科と総合外科の寄附講座を設置した。これは県から委託された事業であるが、平成23年から、不足している診療分野を強化するため教授、准教授、講師と助教(平成24年4月現在計17名)を大学から出向させている。これにより地域医療の充実を図ると共に、平成24年度からは、ここで第5学年の臨床実習を行っている。学生全員に地域医療を経験できる体制とし、第2教育病院として位置づけている。また、本学では、従前、地域医療への関心を高めるために、第6学年の5月から6週間の学外臨床実習を滋賀県下40の医療施設で行っている。

学生全員が臨床実習で 地域医療を体験



滋賀医科大学

医師14名を派遣
(内科9名、外科5名)

第2教育病院

国立病院機構 東近江総合医療センター

- 平成25年に開院(国立病院機構滋賀病院内に新築)。
- 20診療科、320床を予定。
- 寄附講座以外に、本学 麻酔科・小児科・産婦人科等の医師が赴任する予定。

寄附講座

総合内科学講座
総合外科学講座

診療のほかに
学生・研修医等の
臨床教育も実施